

活動報告 沼田たか子の活動の一部をご紹介します

7.12 ● 東新小岩運動場敷地活用説明会

7.19 ● 第2回定例会 報告会・学習会

区議会報告では区政の混乱についてお話しし、一期目の活動を振り返りました。学習会では子ども・若者を取り巻く現状や人権教育である包括的性教育について学びました。

8.9 ● 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典出席

8.20 ● 「子どもへの香害被害への対策を」記者会見・院内集会

「香害をなくす議員の会」のメンバーとともに文部科学省に学校での香害対策への要望書を提出しました。



10.26 令和7年度葛飾区医療救護訓練 (東部地域病院)

11.9 葛飾区長選挙・区議会議員選挙

9.24 ● 地域猫学習会

10.7 ● ハンセン病お話し会

ハンセン病患者のご家族から、医学的根拠のない強制隔離、国と自治体による偏見の固定化、家族の離散や差別などの過酷な人権侵害について学びました。

11.19 ● 在宅人工呼吸器使用者避難訓練

11.26 ● 葛飾区環境審議会傍聴

12.13 ● 住吉小学校90周年記念式典・祝賀会

在宅で人工呼吸器を使用している当事者が自ら主催する訓練も10回目。今では都内自治体の災害担当職員や保健師も参加し自治体の防災対策にも活かされる訓練になっています。

❖ 住み慣れた地域で安心して生活するために、葛飾区で取り組んでほしいことはなんですか？

医療・介護・福祉

内容：

子育て・教育

内容：

災害・防災

内容：

環境

内容：

人権・ジェンダー平等

内容：

❖ その他ご意見・ご要望など自由にお書きください。

区政のことを聞きたい、
 暮らしの中の困りごとを相談したい、などなど
 どなたでも気軽におこしください。

毎月10日は
なんでも相談会

時間
 10:00~12:00

場所
 葛飾・生活者ネットワーク事務所
 曜日に関わりなく開催します

令和8年 第1回葛飾区議会定例会 2.16 (月) 3.27 (金) (予定)

NET 葛飾・生活者ネットワーク

議員は市民の代理人。
 生活者ネットワークは議員を代理人と呼び活動しています。

- 生活者ネットワーク 3つのルール**
- ❖ 議員は交代制、議員の特権化を防ぎます
 - ❖ 議員報酬は市民の政治活動資金に
 - ❖ 選挙はカンパとボランティアで

〒125-0054 葛飾区高砂 8-21-1
 TEL: 03-5876-4757 FAX: 03-5876-4758
 e-mail: katsushika@seikatsusha.net
 https://numata.seikatsusha.me



← WEBフォームからも回答いただけます
 ご協力ありがとうございました。

葛飾・生活者ネットワーク ぬまた **沼田たか子**
 葛飾区議会議員
 だれもが安心して暮らせる かつしかに



あなたに知ってもらいたい

区議会レポート
 2026.2.1 発行 Vol.16

子どもの教育環境を保障する

「キレイ、簡単、安い」は大きな誤解 問題だらけの人工芝

人工芝は手入れがほぼ不要、泥や土で汚れず清潔に遊べるとして葛飾区でもスポーツ施設、公園、小中学校、子ども未来プラザで使用されています。しかし海外では環境面、健康面に課題のある人工芝の規制の動きが強まっており、多摩市や大阪府などは人工芝施設におけるマイクロプラスチック流出抑制に関するガイドラインを示し、それに基づいた取り組みを進めています。

そこで葛飾区に、人工芝の課題認識と、今後新たに整備する施設や既存施設の人工芝についてどのように対応をしていくのか、昨年9月の定例議会で一般質問をしました。

区長からは新たに人工芝を整備する際には耐久性が高く、マイクロプラスチックの発生を抑制できる製品の選択や、敷設後は日常的な清掃による破片の除去や流出防止のための金網やフィルターの設置など、具体的な対策を検討すると回答がありました。また、環境や健康への影響があることを認識していることもわかりました。区に対してはこれまで人工芝を使用してきた施設についても、できるだけ人工芝以外の整備手法を検討すること、人工芝を使用する際には効果的なマイクロプラスチック流出抑制対策を実施することを求めました。

ところが12月の定例議会で当初のクレイ舗装予定の小中学校の校庭が、地域から砂埃防止の要望があり人工芝に整備されることが報告されました。人工芝の環境面・健康面への影響を認識している区として課題を地域住民にもっと知らせるべきだったのではないのでしょうか。

人工芝とは
 天然芝に見えるように作られた合成繊維。庭やスポーツ施設など、芝を必要とする場面で使用されている。基本的にナイロン、ポリエチレン、ポリプロピレンなどのプラスチック素材で作られ、芝を立たせるための充填材には廃タイヤ由来のゴムチップが多く使われている。

- 人工芝の有害性**
- 人や環境への影響が懸念されるマイクロ・ナノプラスチックの大量発生源である
 - 発がん性や内分泌かく乱作用のある多種類の有害物質が含まれている
 - プラスチック汚染により生態系に悪影響を及ぼす
 - 製造・使用・処理すべての段階で温室効果ガスを発生し、地球温暖化加速の一因になる
 - 焼却もリサイクルも難しい処理困難物である
 - 怪我や熱中症のリスクを増大させる
- 参考：日本消費者連盟資料

海外では
 米国では PFAS(有機フッ素化合物)が含まれていることを理由に人工芝を規制する州が増えている。EU は環境汚染の最大の要因となるマイクロプラスチックの規制を強化。主な排出源である人工芝に



❖ 議会報告をしています ❖

議会後は駅前などでレポートの配布、議会の様子や沼田の活動を報告しています。区民の皆さんの意見を伺う大切な時間でもあります。気軽にお声がけください。



UD FONT 本文にユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

一般質問に登壇しました

子どもの権利保障について

Q 葛飾区子どもの権利条例が制定されて2年になるが子どもの権利の認知度は上がってきているか。この1年の周知についての取り組み、実績と成果、課題、また今後の取り組みについて伺う。

A 子ども世論調査で子どもの認知度は28.2%。一方18歳以上の大人は6.2%（区民モニターアンケート）と子どもより大人の認知度が低いことが課題である。今年度は広報かつしかに子どもの権利の記事を掲載、小学1年生に子どもの権利条例の啓発リーフレットの配布などを行った。来年度は家庭教育応援制度で子どもの権利に関する講師派遣学習動画による普及啓発活動を進めていく。

Q 区のホームページ内に子どもページを開設し、匿名で子どもの声を聴くための「こえポス」、専門家が相談に応じる意見表明のフォームを作るなど新たな取り組みをすすめたが、今年の意見表明の状況はどうか。子どもたちに意見を聞きながら、子どもたちが相談しやすい環境に改善する必要があると考えるがどうか。

A 「こえポス」には26件、児童相談所一時保護所からは2件、かつしか子どもページからはない。子どもページの見直しをすすめ、子どもたちが意見表明しやすい環境づくりに努める。

Q 教育委員会では子どもの権利についての理解を深めるためにどのように取り組んでいるか、実績と成果、課題、今後の取り組みについて見解を伺う。

A 希望する中学校で「生徒会応援プロジェクト」を実施し、生活のきまりや校則に子どもたちの意見を反映させることや子どもたちのアイデアや願いを取り入れた教育活動を行った結果、子ども自身が子どもの権利について意識できるようになった。課題は教職員の子どもの権利に関する意識向上にあるので教職員向けの研修をすすめる。

一般質問は、議員が区政全般に関して行政側に現状や見通しを聞くことです。区民の皆さんの声や政策の中から検討を重ね、子どもの教育環境について質問しました。

不登校について

Q 区内にある東京シューレ葛飾中学校やフリースクール、NPO法人等の支援団体などの民間との連携状況はどうか。不登校支援関連団体等と連携しながら不登校対策を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

A 東京シューレ葛飾中学校やフリースクールなどの不登校支援団体等との連携は教育委員会として現時点では考えていない。

Q 学校やふれあいスクール明石に行けないと保護者も子どもも行き場所がなく、途方に暮れ孤立している。他の自治体で行っているように東京シューレ葛飾中学校やフリースクール利用者支援事業に該当する施設等、民間の情報についても提供が必要と考えるが、見解を伺う。

A 保護者向け相談窓口、ハンドブックやふれあいスクール明石の登録者を対象にオンライン上の仮想空間を活用した居場所及び学びの場を提供している。教育委員会が一律で提供するのではなく、保護者自身が自ら選択することが重要と考え、現時点ではフリースクールなどの情報提供は考えていない。

葛飾区議会議員の議員報酬が上がります

今定例会に議員報酬の見直しについての議案が提出され、12月分から月額2万1,000円の増額（年間で25万2,000円増）となることが決まりました。

2023年2回、2024年1回、2025年2回と毎年のように引き上げられています。区内事業者の厳しい経営状況が報告されたり、報酬が上がらず介護事業所の倒産が相次ぐなかで、もともと平均よりも多い議員報酬を上げる必要はないと考え議案に反対しましたが、賛成多数で可決されました。その根拠になったのは公務員給与の引き上げです。特別区における厳しい採用環境を踏まえ、より規模の大きな企業と比較する必要があるとして、これまで50人以上だった事業所の規模が100人以上になりました。

官民格差があるから公務員給与を上げる、“それに伴い特別職（区長・教育長・議員等）の報酬も上げるのが妥当”との葛飾区特別職議員等審議会の答申通りに議員報酬を上げることについて、どう考えますか？

Q 葛飾区では学校給食費が無償化されたが、学校に行くことができない不登校の児童・生徒はその恩恵を受けられない。学校に行くことができないという子どもたちの困難の軽減や、子どもの育ちや最善の利益のためにも、不登校の子どもたちへの給食費相当給付金等の検討が必要と考えるが、区の見解を伺う。

A 学校以外の昼食については補助の対象にしていない。不登校の児童・生徒も登校時に給食費を負担せずに給食を食べることができる。検討する考えはない。

2024年度、葛飾区の不登校児童・生徒数は1,200人を超えています。

不登校の子どもの多様な状況に対応する上で、文部科学省もフリースクールや地域の不登校支援関連団体との連携・協力の必要性を示すなか、子どもの最善の利益を考えているとは思えないこのような教育委員会の答弁は残念でなりません。引き続き子どもの権利を大切にする葛飾のまちづくり、不登校支援の充実について取り組んでいきます。

沼田たか子 区議会レポート vol.16

夫と息子の3人家族
葛飾区新宿在住

沼田たか子のプロフィール

1976年 新潟県吉田町（現：燕市）生まれ。新潟大学医療技術短期大学部看護学科卒業。日本医科大学付属病院、新潟大学附属病院に勤務。結婚後、訪問看護師として働く。2011年 聖徳大学人文学部心理学科卒業。生活クラブ生協加入。2013年 葛飾区新宿に転居。2017年より区内の訪問看護ステーションに勤務。2021年 葛飾区議会議員選挙初当選
2024年6月 みらい葛飾（生活者ネット・無所属）副幹事長
2025年11月 葛飾区議会議員選挙当選（2期目）建設環境委員会、危機管理対策特別委員会に所属

- 資格：看護師、心理相談員、介護支援専門員実務受講試験合格
- 趣味：庭いじり、ヨガ



お手数ですが
85円分の切手
を貼付のうえ
投函ください

1250054

東京都葛飾区高砂8-21-1

沼田 たか子 行

よろしければご記入ください

お名前： _____

ご住所： _____

電話番号： _____

メールアドレス： _____